

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月11日

上場会社名 株式会社 鶴見製作所
 コード番号 6351 URL <http://www.tsurumipump.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

(氏名) 辻本 治
 (氏名) 廣田 正章
 配当支払開始予定日

TEL 06-6911-2351
 平成20年12月10日

上場取引所 東大

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	15,527	—	980	—	1,343	—	606	—
20年3月期第2四半期	15,311	2.0	1,339	9.0	1,610	3.4	994	12.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	22.93	—
20年3月期第2四半期	37.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	44,831	34,330	76.5	1,304.29
20年3月期	49,672	34,638	69.7	1,304.76

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 34,302百万円 20年3月期 34,610百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
21年3月期	—	8.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	3.1	2,950	△5.9	3,200	10.4	1,900	10.2	72.24

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 27,829,486株 20年3月期 27,829,486株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 1,529,532株 20年3月期 1,303,158株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 26,441,890株 20年3月期第2四半期 26,812,216株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安や株価の下落、原油価格の乱高下、原材料価格の高騰などの影響により企業収益が低下し、また食料品、生活必需品などが値上がりする中、所得や雇用環境の悪化に伴い個人消費が低迷するなど景気の後退感が強まりました。

また、当社グループ関連業界に大きな影響を及ぼす公共投資につきましては、引き続き低調に推移しました。

このような状況の中で当社は、新中期3ヶ年経営計画「α2009」の最終年度である第58期のキーワードを引き続き「選択と集中」(Selection and Concentration)とし、着実な事業展開を図りました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は15,527百万円、営業利益は980百万円、経常利益は1,343百万円、四半期純利益は606百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は44,831百万円と前連結会計年度末に比べ4,841百万円減少しました。

これは、主に資産の部における受取手形及び売掛金の減少と負債の部における1年以内償還予定社債の減少によるものであります。

純資産につきましては、当第2四半期末現在34,330百万円と前連結会計年度末に比べ307百万円減少しました。

これは、主にその他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は76.5%と前連結会計年度末に比べ6.8%改善いたしました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、現在の経済及び金融情勢が不安定であり不透明な要素が多く今後も厳しい状況が続くと予想されるものの、現時点では平成20年5月16日に発表しました数値の見直しは行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として受注生産品は個別法による原価法、その他は移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として受注生産品は個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)、その他は移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ35百万円減少しております。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ28百万円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,771	3,684
受取手形及び売掛金	11,023	13,617
有価証券	1,068	1,341
商品	504	631
補修部品	329	299
製品	1,729	2,172
半製品	972	973
原材料	1,142	1,100
仕掛品	1,319	1,434
その他	1,085	1,151
貸倒引当金	△65	△49
流動資産合計	21,882	26,355
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,646	6,609
その他	4,003	3,818
有形固定資産合計	10,649	10,427
無形固定資産		
のれん	257	—
その他	451	418
無形固定資産合計	708	418
投資その他の資産		
投資有価証券	9,762	10,704
その他	1,917	1,828
貸倒引当金	△90	△61
投資その他の資産合計	11,590	12,470
固定資産合計	22,948	23,316
資産合計	44,831	49,672

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,584	5,102
一年以内償還予定社債	—	3,000
未払法人税等	500	92
賞与引当金	571	554
その他	2,149	2,825
流動負債合計	6,806	11,574
固定負債		
社債	3,000	3,000
退職給付引当金	270	278
役員退職慰労引当金	146	155
その他	277	26
固定負債合計	3,693	3,459
負債合計	10,500	15,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,188	5,188
資本剰余金	7,897	7,897
利益剰余金	23,382	23,094
自己株式	△1,580	△1,395
株主資本合計	34,888	34,784
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△382	29
為替換算調整勘定	△202	△203
評価・換算差額等合計	△585	△174
少数株主持分	28	27
純資産合計	34,330	34,638
負債純資産合計	44,831	49,672

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	15,527
売上原価	10,953
売上総利益	4,574
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	1,276
賞与引当金繰入額	371
その他	1,946
販売費及び一般管理費計	3,594
営業利益	980
営業外収益	
受取利息	193
受取配当金	48
為替差益	150
その他	61
営業外収益計	454
営業外費用	
支払利息	41
課徴金等	29
その他	20
営業外費用計	90
経常利益	1,343
特別損失	
投資有価証券評価損	268
税金等調整前四半期純利益	1,074
法人税、住民税及び事業税	507
過年度法人税等戻入	△477
法人税等調整額	438
法人税等合計	467
少数株主利益	0
四半期純利益	606

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期にかかる財務諸表

中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額(百万円)	百分比 (%)
I 売上高	15,311	100.0
II 売上原価	10,409	68.0
売上総利益	4,901	32.0
III 販売費及び 一般管理費	3,562	23.3
営業利益	1,339	8.7
IV 営業外収益		
1 受取利息	313	
2 受取配当金	49	
3 退職給付費用(益)	50	
4 その他	90	503 3.3
V 営業外費用		
1 支払利息	27	
2 投資事業組合 投資損失	50	
3 有価証券評価損	33	
4 為替差損	99	
5 その他	21	232 1.5
経常利益	1,610	10.5
VI 特別損失		
投資有価証券 償還損	13	13 0.1
税金等調整前 中間純利益	1,597	10.4
法人税、住民税 及び事業税	534	
法人税等調整額	67	602 3.9
少数株主利益	1	0.0
中間純利益	994	6.5